

調達の一環として、市内水産加工品を活用する予定である。

今後学校をはじめ関係機関と連携しながら、水産物や水産加工品の消費拡大、流通促進に努めていく。

無料法律相談窓口の改善

問 市の無料法律相談について、電話等による事前予約を行う考えはないか。また、プライバシーに配慮した相談場所を検討すべきではないか。

答 本市の法律相談は、毎週月、火、木曜日に実施しており、実施日の午前8時45分から11時30分までに先着10名まで受付を行った後、抽選により順番を決定し、午後1時から4時までの間に、一人につき15分から20分程度で相談を行っている。

現行の実施方法では受付から相談終了まで長時間を要し、相談者にとって利用しづらい面もあることから、今後、電話による事前予約制の具体的な検討を進めていきたい。

相談者のプライバシー保護については十分配慮しているが、新市庁舎においてより充実を図りたい。



野母崎地区の防災対策

問 令和2年9月の台風及び集中豪雨による国道499号や河川の被害状況と、今後の対策について伺いたい。

答 脇岬町や黒浜トンネル付近は土砂の流入や越波などで道路が冠水し、通行止めが発生した。その後、長崎県が復旧作業に当たったが、脇岬町では落石防護柵の復旧に時間を要し、現在も片側交互規制が行われており、早期全面復旧と災害に強い道路づくりに向けて県に働きかけていきたい。

河川については、上流の河川の法面が大雨などに浸食され、土砂が下流に流れ出たものと考えている。特に被害が大きかった風破木川においては、これまで一部区間の整備を進めてきたが、引き続き地元自治会と協議を行いながら整備を進めていく。

さらに、根本的な対策として、県による河川上流の砂防事業化について働きかけていきたい。



▲被災した風破木川の様子

令和長崎

長崎スタジアムシティプロジェクトの進捗

問 ジャパネットホールディングスとの協議状況と本市の支援について伺いたい。

答 事業者との協議や情報交換は、多い時は週に数回行っており、最寄りの公共交通機関からのアクセス方法やマイカー利用による交通渋滞への対策など、必要な調整を進めている。

また、プロジェクトへの支援については、令和2年9月には、プロジェクト



※構想段階のため、今後デザインを含め変更の可能性があります。提供:ジャパネットホールディングス

▲幸町に建設予定のスタジアム(イメージ図)

ト用地を含む市の中心部エリアが国から都市再生緊急整備地域の指定を受け、税制面での優遇措置が可能となったほか、工業地域から商業地域への用途地域変更の進捗を進めている。

現在、事業者においてスタジアムやアリーナなどの施設基本設計が進められており、予定では令和4年の着工、令和6年の初め頃の完成となっていることから、今後も必要な協議を遅滞なく進めていく。

これからの介護人材の確保

問 高齢化がさらに進行することによって介護人材の不足が見込まれるが、本市における今後の介護人材の不足数の試算と人材確保策を伺いたい。

答 長崎県が平成29年度に推計した介護職員の需要と供給の見込みでは、令和7年度に県下で約3300人の不足が見込まれ、人口割合にすると本市は約1000人の不足が見込まれる。

介護人材の確保は喫緊の課題となっており、県と連携し、ICTの活用による業務の効率化や元気高齢者のボランティア養成、小学校高学年への体験学習の実施、外国人の人材を安定的に受け入れる仕組み作りなど、新たな介護人材の発掘に努めていく。また、高齢者ができる限り介護が必要な状態にならないよう、自立支援、重度化防止策にも併せて取り組んでいく。